

令和4年8月2日

報道機関 各位

「行革甲子園 2022」における事例発表団体の選定について

愛媛県が開催する「行革甲子園 2022」において、本市のいわき版 MaaS 推進プロジェクト「行政 MaaS」の取組みが発表事例として選定されたことから、次によりお知らせします。

1 行革甲子園 2022 概要（予定）

日 時：令和4年8月26日（金）12時半～17時頃

場 所：愛媛県松山市 松山市民会館

出席者：愛媛県知事、全国の自治体職員、審査員等

内 容：【事例発表・審査・表彰】

- ・応募があった85事例中、書類審査を通過した8団体によるプレゼンテーション

- ・審査員による審査

- ・最も優れた取組みをグランプリとして表彰

【特別講演】※事前録画

講演者：オードリー・タン台湾デジタル担当大臣

内 容：台湾のデジタル化の取組みについて

※行革甲子園：地方自治体が取り組んできた「行政改革」に係る先進的・独創的な取組事例を募集し発表・表彰する大会。自治体間でアイデアやノウハウを共有し、自らの取組みに活用することで、行政改革のさらなる推進を図ることを目的に愛媛県が主催しており、これまで5回（H24、H26、H28、H30、R2）開催。

2 発表事例

いわき版 MaaS 推進プロジェクト「行政 MaaS」

～出張行政サービス「お出かけ市役所」の取組み～

中山間地域等における行政サービスの利便性向上を図るため、オンライン相談機能等を搭載した車両を活用し、出張行政サービス「お出かけ市役所」の実証を行うもの。

3 「行革甲子園 2022」掲載サイトについて

愛媛県公式サイト

<https://www.pref.ehime.jp/h10800/shichoshinko/renkei/gyoukakukoushien.html>

4 事例発表団体（8 団体）

いわき市（福島県）、山形市（山形県）、茂木町（栃木県）

前橋市（群馬県）、座間市（神奈川県）、日南町（鳥取県）

西予市（愛媛県）、別府市（大分県）

5 その他

(1) 行革甲子園 2022 応募状況

33 都道府県 68 市町から 85 事例（このうち審査対象事例は、76 事例）

(2) 行革甲子園 2022 における本市の事例発表は、2016 年の伊達市に次ぎ、
本県 2 例目となります。

（事務担当）スマート社会推進課 電話 22-7473

○発表事例（8事例）の概要

事 例 名	概 要
【山形市】 （山形県） 全国初！連携中枢都市圏連携事業による広域炊飯施設の整備 ～共通課題をスピード解決～	米の消費拡大、地産地消や学校給食への異物混入防止等を図るため、 <u>山形連携中枢都市圏8市町により、連携事業として行政が設置する炊飯施設では、全国初となる広域炊飯施設を整備した。</u>
【いわき市】 （福島県） いわき版MaaS推進プロジェクト 「行政MaaS」～出張行政サービス「お出かけ市役所」の取組み～	中山間地域等における行政サービスの利便性向上を図るため、 <u>オンライン相談機能等を搭載した車両を活用し、出張行政サービス「お出かけ市役所」に取組み、行政サービスの利便性向上を図った。</u>
【茂木町】 （栃木県） 地方公務員が一般社団法人を設立して町の財源を生み出す	茂木町役場有志により、地域商社「 <u>（一社）Social Up Motegi</u> 」を設立し、地域内に存在する資源のブランド化・地域の情報発信等を行い、純利益の一部を町に寄附することで <u>町の新たな財源確保につなげた。</u>
【前橋市】 （群馬県） 印刷BPO ～職員を紙作業から解放する～	他自治体と連携し、帳票の標準化を行い、印刷BPO※事業を実施し、住民サービス向上、職員の業務改善及びコスト削減を実現した。 ※BPO（Business Process Outsourcing）：アウトソーシングの一種で、自社の業務プロセスをまとまった単位で継続的に外部の専門的な企業に委託すること
【座間市】 （神奈川県） 循環型社会実現に向けた「廃棄物・資源物収集のDX」	<u>デジタルの活用によって家庭系廃棄物の既存収集業務の効率化を実現し、効率化によって創出された余力により新たなリサイクル体制を確立したほか、市民に向けた啓発活動の拡充にもつなげるなど、市民と一体となった循環型社会の実現に取り組んでいる。</u>
【日南町】 （鳥取県） 脱炭素で地域事業者のサステナブル経営を後押しするSDGs未来都市の挑戦	脱炭素化に取り組む企業の環境意識の醸成と実行支援、持続可能な森林整備等への財源確保と次世代への投資を目的に、 <u>地方銀行と連携したJ-クレジット※販売モデルを構築。</u> ※J-クレジット：二酸化炭素の排出権を取引する国の制度
【西予市】 （愛媛県） 働き方改革を実現するオフィスの空間づくり～with コロナ時代における自治体経営改革～	平成26年度から取り組むオフィス改革を生かし、 <u>with コロナを前提とした新しい生活様式に対応したオフィス改革や職員参加型の意識改革プログラムに取り組むなど、ハード（環境整備）・ソフト（意識改革）両面から働き方改革を推進。</u>
【別府市】 （大分県） RPAを活用して3年、職員の負担軽減、年間6,000時間までの道のり	令和元年度からRPAの本格利用を開始し、継続して利用を拡大（令和3年度末時点：16課87業務でRPA活用）。 <u>RPAのシナリオ作成を主に内製（内製率82%）で行い、各課が取り入れることで本格利用以降の投資対効果額約21,000千円、年間6,000時間の業務負担縮減につなげた。</u>

行革甲子園

～創・効・種で魅せる！
地方公務員によるもう一つの甲子園～

事例 募集

全国の市区町村の創意工夫あふれる取組を発表、表彰する
「行革甲子園2022」を開催します。多くのノウハウを共有し、
自らの取組に活用していただくことが目的ですので、
全国から一つでも多くの事例の応募をお待ちしています。

募集期間

令和4年

5月20日(金)まで

事例応募
だけでもOK

事例共有のみの参加（審査を希望しない）
もOKです。応募のあったすべての取組を、
応募団体をはじめ多くの関係機関で共有
したいと考えておりますので、先進性や効果
の大小に捉われることなく、積極的にご応募
いただきますようお願いいたします。

当日の内容(予定)

- 日時・場所 令和4年8月26日(金) 12:30～17:00
松山市内にて開催

- プレゼンテーション 8団体程度による事例発表

特別講演(予定)

- 講演者 オードリー・タン 台湾デジタル担当大臣(事前録画)
- 講演内容 DX推進に関すること等(調整中)

- 審査・表彰式



前回「行革甲子園2020」の様子

問い合わせ
申込先

愛媛県 総務部 市町振興課 〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2

電話 089-912-2216(直通) / FAX 089-912-2209 / Eメール g-koushien@pref.ehime.lg.jp

題字: 愛媛県立三島高等学校 書道部

「行革甲子園2022」募集要項

～創・効・種で魅せる!地方公務員によるもう一つの甲子園～

募集対象事例

市区町村が取り組んだ「行政改革事例」とします。

ここでの「行政改革事例」とは、行政運営や事業実施における「効率化事例」や「効果拡大事例」、「新しい手法の導入事例」などとし、例えば、次のような事例を募集します。

- 他の市区町村や都道府県との連携による効率化・効果拡大事例
- 公共施設等の有効活用・効果的なマネジメント事例
- 民間企業や大学等の知恵・ノウハウ・資金・パワーの有効活用事例
- デジタル技術の活用による効率化・課題解決事例
- 業務効率化や働き方改革に関する事例
- 歳入増加や経費削減、組織の見直し事例
- 住民との協働や住民のネットワーク等の活用事例
- 新たな手法の導入等による地域活性化事例
- SDGsの達成に向けた持続可能なまちづくりに関する事例
- その他の先進的・独創的な事例

※これまでの大会に応募した事例でも、その後、取組が拡大等した場合は応募いただけます。

応募方法

- ・エントリーシート(愛媛県ホームページからダウンロード可能)に必要な事項を記入し、Eメールで応募してください。
- ・事務局にて内容確認後、記入していただいたメールアドレスに「受付完了のメール」を送信いたします。この時点で、申込み完了となります。
- ・1団体につき、複数の事例を応募いただいても構いません。

【提出先メールアドレス】

愛媛県 総務部 市町振興課 g-koushien@pref.ehime.lg.jp

評価のポイント

「創」「効」「種」の3拍子揃った取組の観点に加え、プレゼンテーションの内容を評価します。

創(そう) 創意工夫あふれる取組か、先進性・独創性があるか

効(こう) 費用対効果の高い取組か

種(しゅ) 他にアイデアの種を提供する取組か(他の自治体に広がる取組か)

プレゼン 取組の意図や内容がよく伝わるプレゼンであったか

審査方法

①1次審査(書類審査)

- ・応募された取組事例について、複数の審査員にて書類審査を行い、最終審査での発表事例(8団体程度)を選定します。
- ・選定結果は、全応募団体に事務局からご連絡します(7月中旬)。

②最終審査(プレゼンテーション審査)

- ・1次審査を通過した団体にプレゼンテーションを行っていただき、複数の審査員による審査に基づき、グランプリを決定します。
- ・プレゼンテーションはプロジェクターを使用し発表していただきます。
- ・最終審査参加に要する旅費については、主催者が負担します。
- (ただし、各団体2名以内とし、愛媛県の規程に基づく額等の条件があります。)

表彰

グランプリ 1事例(副賞として記念品を贈呈します。)

発表事例は、すべて入賞(優秀賞)として表彰します。

表彰は、審査員長名で行います。(審査は複数の審査員で行い、愛媛県が審査・表彰するものではありません。)

事例の公表

「行革甲子園2022」の開催後、応募のあったすべての取組事例を愛媛県ホームページに掲載し、応募団体をはじめ関係機関と広く共有いたします。

■全体スケジュール概要(予定)

1	事例募集	3月22日(火)～5月20日(金)
2	1次審査(書類審査)	6月
3	1次審査通過団体決定・通知	7月中旬
4	「行革甲子園2022」開催	8月26日(金)

これまでの「行革甲子園」について

愛媛県では、平成24年度から隔年で、県内版として2回、全国版として3回「行革甲子園」を開催しています。

令和2年度に開催した「行革甲子園2020」では、新型コロナウイルス感染症対応で業務多忙にもかかわらず、行革甲子園の趣旨に賛同する30都道府県の60市区町村から73もの創意工夫あふれる取組事例の応募がありました。これらの発表事例等を参考に、類似の取組が他の自治体で取り入れられるなど、優良事例の波及効果が認められています。

これまでの応募事例や受賞事例は、愛媛県ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

行革甲子園

検索

応募待ってるけん!!

